

動物愛護施策充実を

NPPO
もりねこ 市長に拠点設置要望

盛岡

盛岡市で猫を高めるため、全国に先駆ける保護活動を展開し、同市菜園で猫カフェを運営するNPPO法人もりねこ(工藤幸枝代表)のスタッフらは19日、カフェで谷藤裕明市長と意見交換し、動物愛護センター設置などの施策の充実を求めた。

工藤代表は「猫カフェもりねこ」の中を案内し、保護され新たな飼い主を待つ猫が後を絶たない現状を説明。「市民一人一人の意識

を高めるため、全国に先駆けて取り組みを進めてほしい」と述べ▽動物を良好な環境で保護する愛護センターの設置▽野良猫の去勢手術を自主的に行っている市民への助成充実や活動の周知などを訴えた。

谷藤市長は愛護センターについて「県との連携を図りながら、必要な規模や機能を調査研究していく」と検討する考えを伝え、「野良猫による地域のトラブルや保護動物の殺処分など、悲



猫の命を守る施策の充実を求め、谷藤裕明市長と意見交換する工藤幸枝代表(右)

しい出来事をなくすための「い」と理解を示した。カフェでは保護されて譲渡を待つ30匹の猫が生活。「アらの元に預けられ、順番さらに約30匹がボランティアを待っている。